

松蔭中・高美術部 六甲山への挑戦！



松蔭中・高美術部が、『六甲ミーツ・アート芸術散歩 2017』に参戦！
 「六甲ミーツ・アート」とは、六甲山の自然を満喫しながら、現代アート作品をめぐる芸術祭。
 全国から集まった200組以上の腕に覚えのある現代アーティストの中から選ばれました！

六甲ハイチーズ

1

六甲山では99%の人が雄大な自然をバックに
 記念撮影を楽しめる。
 最もよく使われている撮影機材の
 かけこえといはは、



驚くほど、
 現役女子高生の間では
 10/100は「ハイチーズ」で、
 (いつかは? んー! は、
 おじいちゃんがいっしょ)

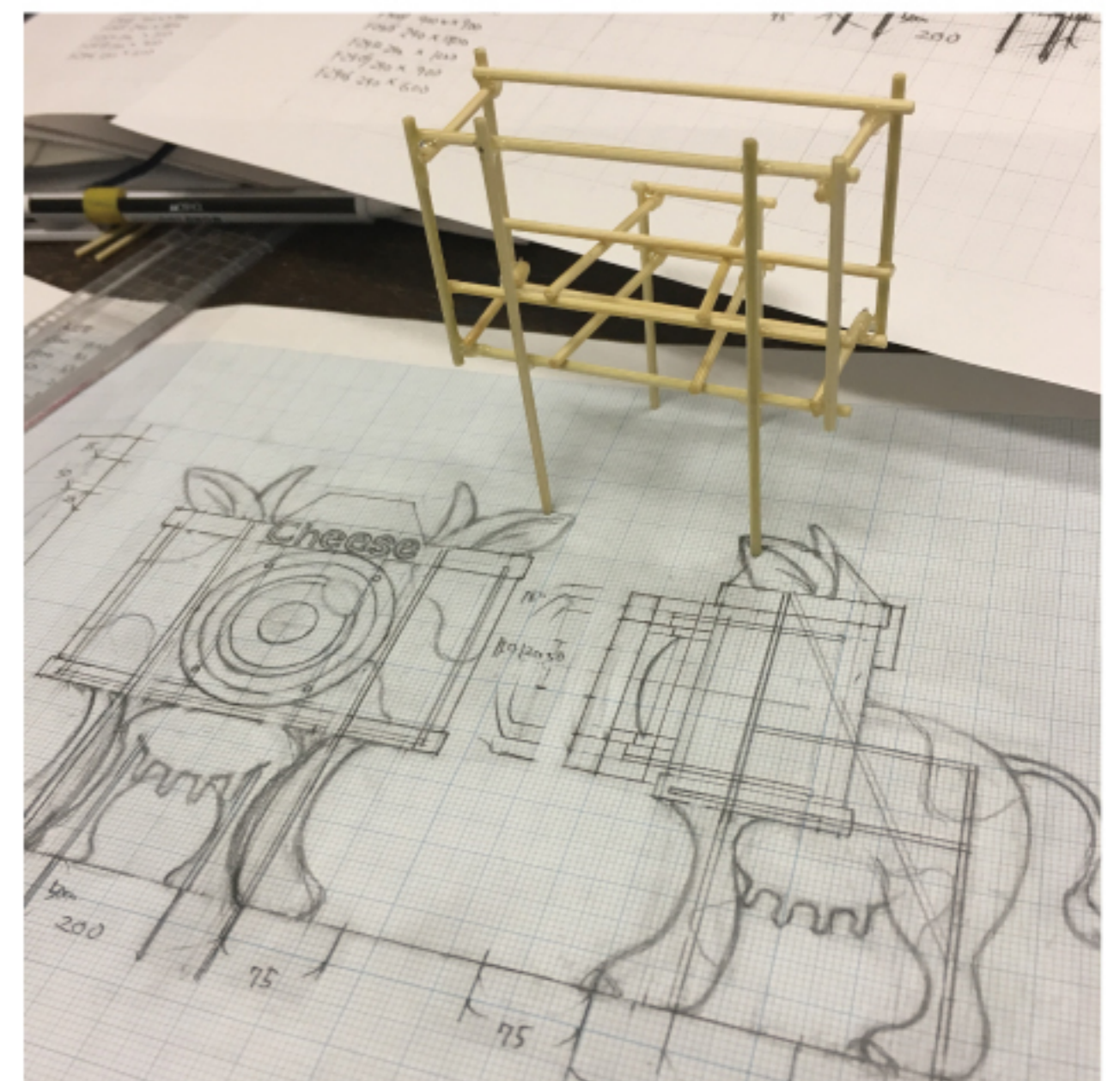
今回六甲ミーツアート2017において、松蔭中美術部が提案するのは、
 六甲山のおおきに『ハイチーズ!』の掛け声をする人、チーズをプレゼントする
 音響が出現し、『ハイチーズ!』のチーズをプレゼントする企画です。



目をつけたのは、六甲山の雄大な自然をバックに記念撮影をする人々。
 最近あまり聞かれなくなった『はい、チーズ!』の掛け声をする人に、本物のチーズをプレゼントするパフォーマンス作品です。



牛柄、ここからさらに工夫!



2ヶ月の風雨に耐えるべく、設計は念入りに。

六甲山カンツリーハウスでの現地調査。棒の高さは5m!
 巨大な芝生の上で存在感を出せる大きさに臨みます。

[制作！7月下旬～8月末]

夏の美術室は、巨大モニュメントの制作工房と化しました。



線を引き、クギを打ち、、、



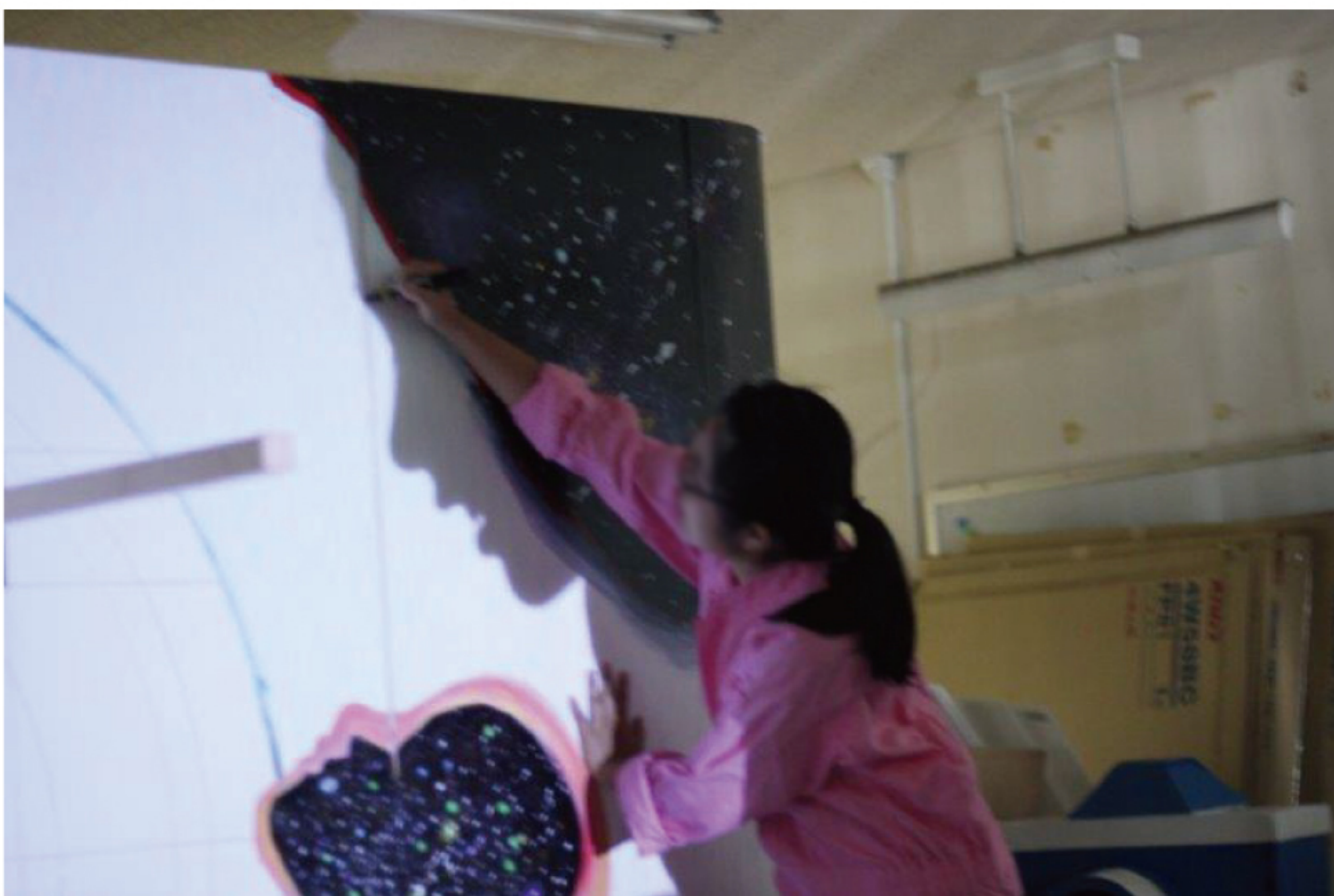
木枠を組み、、、



巨大レンズの中に入り、、、



↓牛柄模様には、隠し絵を入れることにしました！



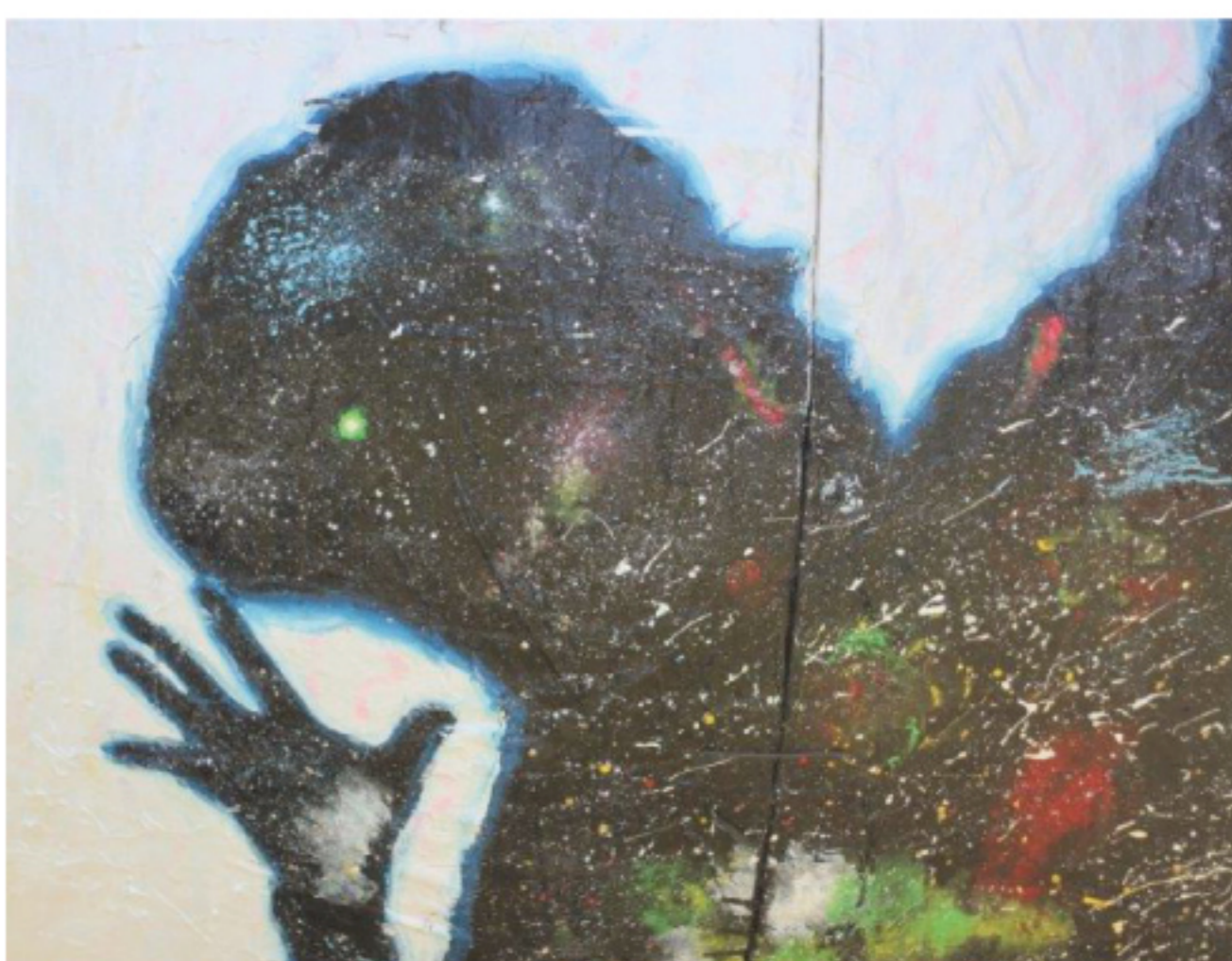
懐中電灯を使って、牛柄模様に隠し絵シルエットを入れてゆきます。



牛柄の黒い部分が小宇宙に。おや、魚??



バレエ研究部のエトワール！



バレーボール部のエース！



毎日、ペンキまみれ！



発泡スチロールをボンドと繊維で強化！



自分の影に、宇宙を内包させる。

[搬入～組み立て]



いよいよ搬入！トラック満載で現地入り！



無駄にテンションを上げてゆきます！



トラック野郎の気分（運転はしていません）



力を合わせてリフトアップ！女子パワーを見よ！



美術室の扉から出るギリギリのサイズに分割したパーツを、骨組みの上で組み立てる。



ファインダー・オン！



鉄パイプだって、ガンガン運びます。



2つ、3つ、まとめて運びます。



ローリング・オン・ザ・芝生。



おしりの、ちょうどよい場所にプスッと。



牛のお乳部分に空気注入。



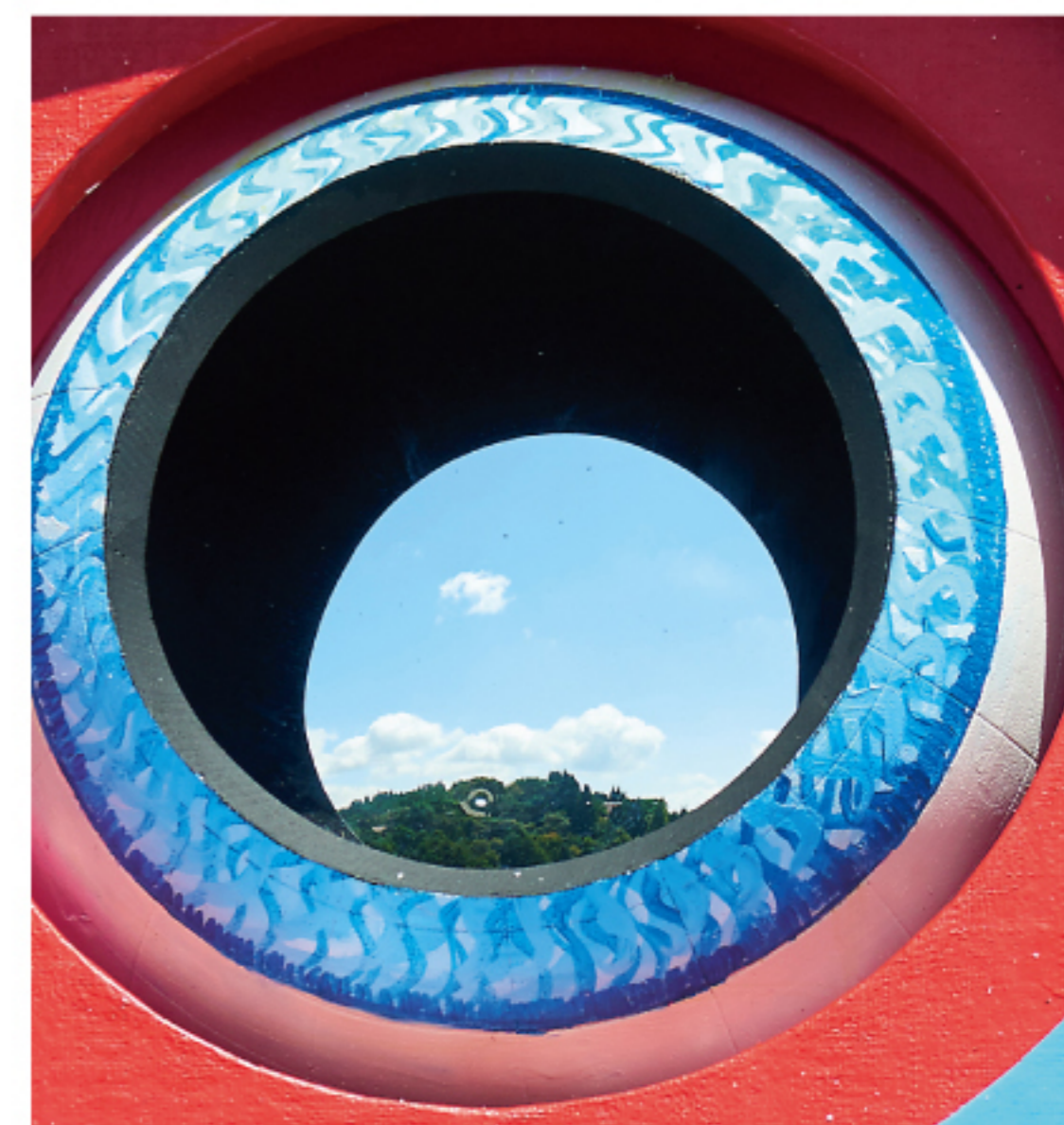
2017年夏、太陽フレアが通常の1000倍を記録。みんなよく日焼けしました。

☺ いよいよ完成へ！

[完成！六甲ハイ・チーズ！]



六甲バター株式会社”Q.B.B”さんにベビーチーズのご提供を戴いています。



レンズの向こうには、六甲山の景色。

ついに完成！しかし、ここからが本番です。我々のミッションは、インスタ映えに押されて絶滅寸前の、あの名台詞、撮る人と撮られる人の絆「ハイ・チーズ！」の復権にあるのです。いざ、出陣！



夏服には、芝生の緑がよく映えます。



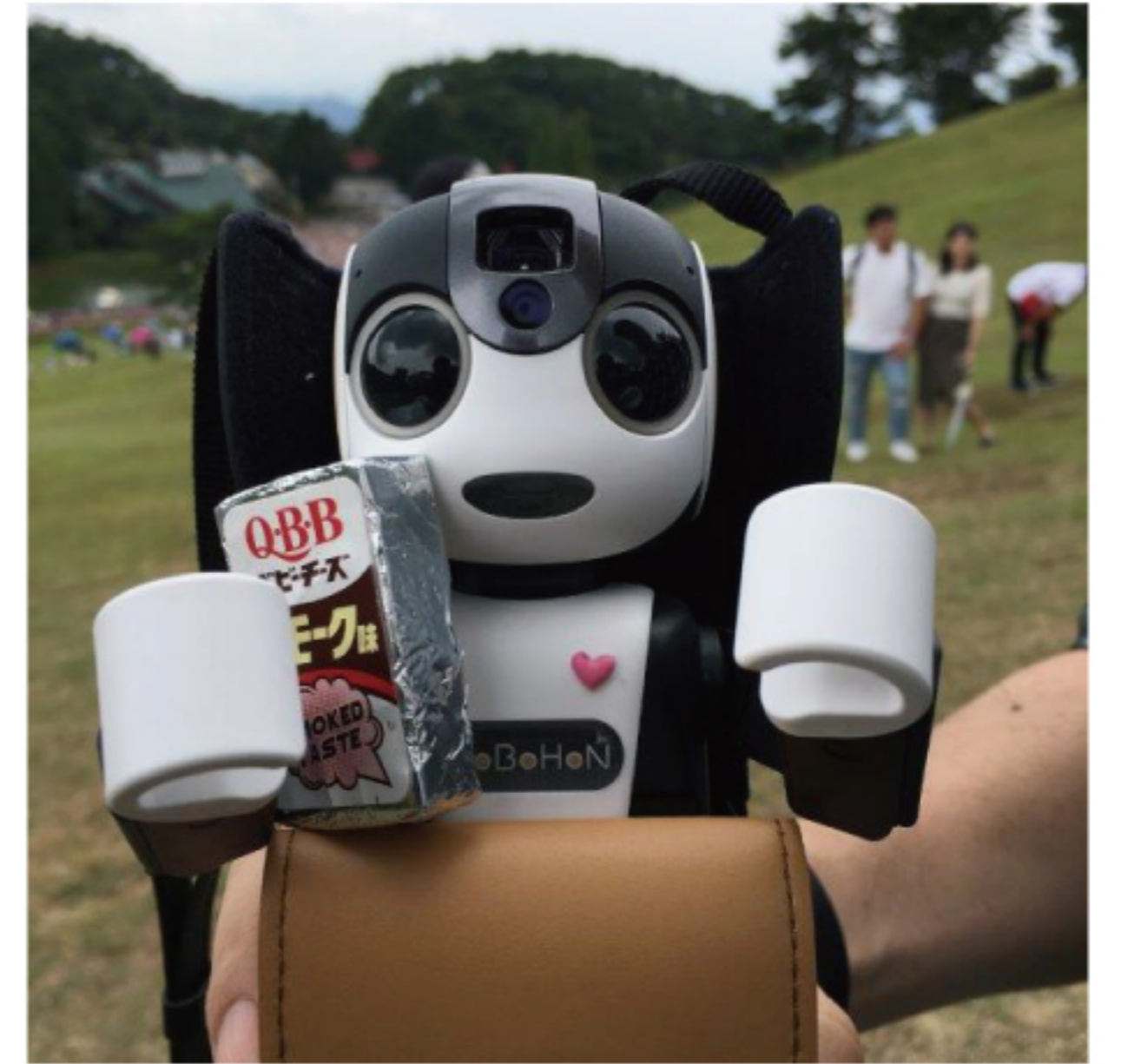
「はい、チーズ！」と言った人に、本物のチーズをプレゼント！
巨大モニュメントを目指す人々で大行列ができる盛況っぷりです！

[参加アーティストとの交流]

明和電機さんや川島小鳥さんなど、憧れのアーティストさんと肩を並べての発表・交流も楽しみです。



「野点」アーティストの、きむらとしろじんじんさん、お世話になりました。頭蓋骨に茶筌を刺したイケメンでした。



「サウンド・オブ・ミュージック in 六甲」

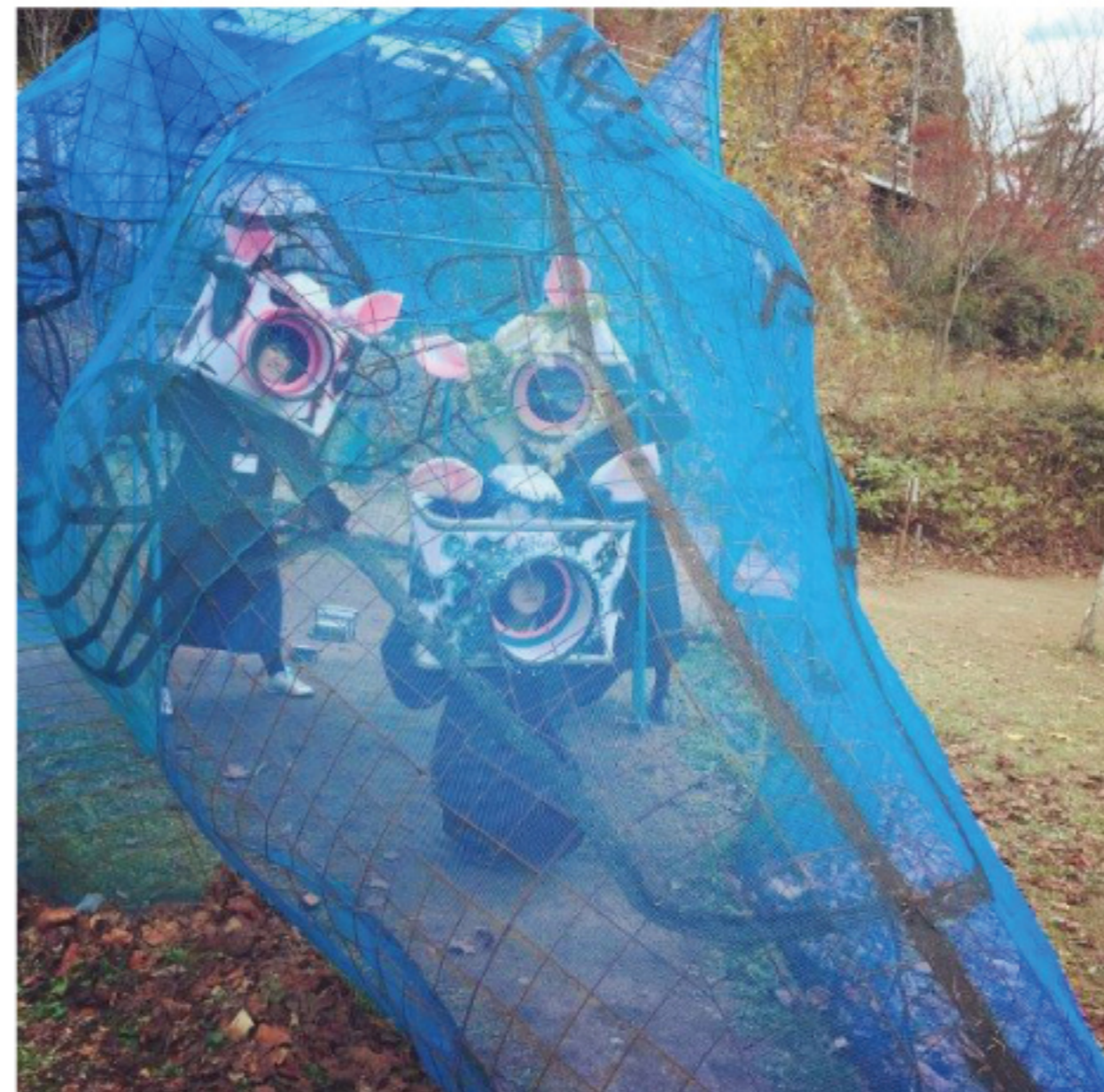
なにわのコレオグラファー「しげやん」と即興ミュージカル！

「写真ヲルヨ！ハイ、チーズ！」
ロボホン君にはしっかり搭載されています。



さとうりさんの、「あべちゃん、なんかついてるよ」に隠された、せつないストーリーに感動。

明和電機さんの「ケーブル5」は本物の六甲ケーブル技師さんたち！



↑ 公募大賞グランプリ作品「Sleeping Guardian」。中に入ると秘密基地のようです。

そして、季節は秋へ

六甲ミーツ・アート大賞・グランプリ受賞!!

（第3報部使物送可）

神戸 新聞

六甲山（神戸市灘区）を舞台にした芸術イベント「六甲ミーツ・アート」で、観客の投票で決まる「六甲ミーツ・アート大賞」グランプリに、松蔭中学・高校美術部（同市灘区）による作品「六甲ハイ・チーズ」が輝いた。今年で8回目で、中高生のグランプリは初めて。プロの美術家や写真家らを押しのけての快挙に、生徒らは「夏休みに協力し、頑張ったかいがあった」と笑顔を見せる。（堀井正純）

松蔭中・高生の作品 最高賞

六甲山舞台の芸術イベント 観客人気投票

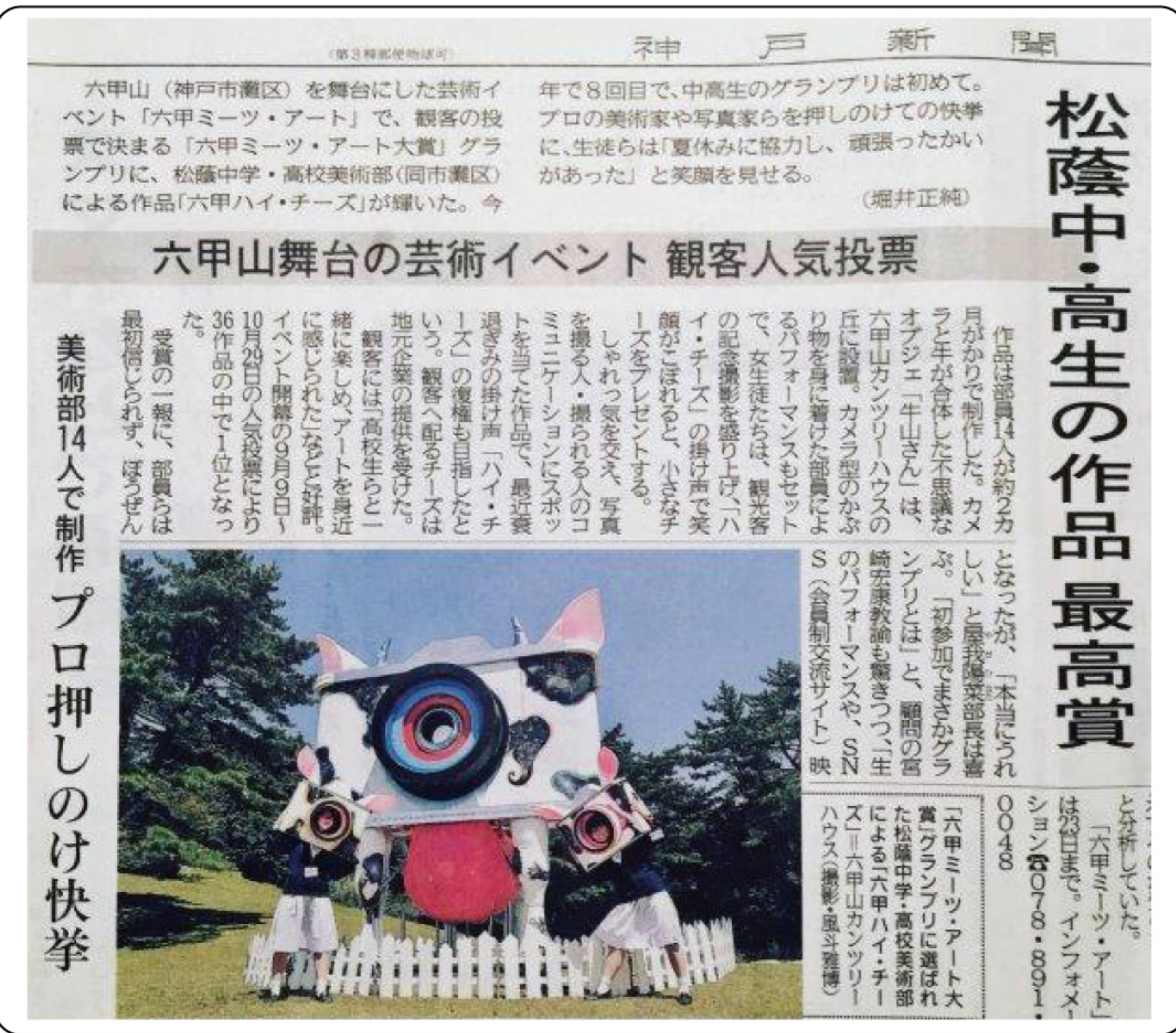
作品は部員14人が約2カ月がかりで制作した。カメラマンが合体した不思議なオブジェ「牛山さん」は、六甲山カンツリーハウスの丘に設置。カメラ型のかぶり物を身に着けた部員によるパフォーマンスもセットで、女生徒たちは、観光客の記念撮影を盛り上げ、「ハイ・チーズ」の掛け声で笑顔がこぼれると、小さなチーズをプレゼントする。しゅれつ気な交え、写真を撮る人・撮られる人のコミュニケーションにスポットを当てた作品で、最近衰えきみの掛け声「ハイ・チーズ」の復権も目指したという。観客へ配るチーズは地元企業の提供を受けた。観客には「高校生らと一緒に楽しめ、アートを身近に感じられた」など好評。イベント開幕の9月9日、10月29日の人気投票により36作品の中で1位となった。

受賞の一環に、部員らは最初信じられず、ほろっせん

美術部14人で制作 プロ押し のけ快挙

と分析していた。「六甲ミーツ・アート」は29日まで。インフォメーション078・8911・0048

「六甲ミーツ・アート大賞」グランプリに選ばれた松蔭中学・高校美術部による「六甲ハイ・チーズ」六甲山カンツリーハウス（撮影：風斗雅博）




なんと、オーディエンス票で決まる六甲ミーツ・アート大賞グランプリに選ばれました！実際に来場したお客さんによる投票結果。これほど嬉しいことはありません。プロの招待作家を含む36作品の中からの栄誉です。この作品に関わってくれたすべての人々に、感謝、感謝、感謝です！！最高の笑顔で、ハイ・チーズ！！



Q.B.B. チーズ館のある六甲山牧場へ！ヒツジ！ヒツジ！ヒツジ！



ひとあし早い雪景色！六甲山スノーパークがオープンしました。



カメラマン・松村さんによる美しい一枚。

[ハイ・チーズ！を合言葉に、多くの人々と交流しました]

「インスタ映え」が流行語大賞となった2017年、撮影をきっかけとして生まれる交流を作品の素材とし、昨今あまり使われなくなった「ハイ・チーズ！」の掛け声と、本物のチーズと笑顔の人々に配り歩くパフォーマンスは、出会ったすべての人々の記憶とネット上のSNS記録に残り続けることでしょう。



ブタさんですか？ウサギさんですか？・・・いいえ、牛さんですよ。



チーズを構えて、ハイ・チーズ！



ストーム・トルーパーも、ハイ・チーズ！



国際交流！ Say, Cheese!!



紅葉をバックに芸術散歩。ハイ・チーズ！



六甲山の夕暮れは、美しい。